

時期的に増加する灰色カビ 対策にシリカ水

- 苺栽培における灰色カビはハウス内温度20℃程で多湿状態で増加します。茎葉の軟弱徒長や過繁茂で多くなり、朝夕の急激な冷え込みや開花後の花弁の付着などもあげられます。
- またCO2処理でハウス内の湿度を高く維持することも要因だと思えます。

《対策①》

- ①胞子の飛散は曇雨日に多くなるので循環扇などで換気を良くする。
- ②防除と発病果、茎葉は速やかに除去する。

《対策②》

- ①ケイ酸肥料「シリカ水」1000倍の散布により茎葉硬化や開花後の花弁の取れを良くします。

